

# 「乳がんの診断と治療 2007」

## ～美しく、前向きに生きたいあなたへ～

日本乳癌学会では社会活動の一環として、年に一度行う学術総会と前後する時期に市民公開講座を開催しています。乳がん体験者の方々が、美しく前向きに生きる活力になることを願って行われた市民公開講座の内容をお届けいたします。

### 開会のあいさつ

川崎医科大学乳癌学術総会  
園尾博司先生

わが国の女性のがんの中で最も多いのが乳がんです。年間約4万人が罹患し、約1万人が亡くなっています。本日の会場にお越しの方の中には、乳がんを闘っておられる方、乳がんのために乳房を失ってしまった方もおられると思います。このような方々のために、本日のテーマを「乳がんの診断と治療 2007」美しく、前向きに生きたいあなたへ」といたしました。この講座が皆様の不安や悲しみを一掃して、美しく前向きに生きる力になることを期待しております。

### 第1部 基調講演

#### 「乳がんの診断と治療」

国立がんセンター中央病院乳癌科医長 木下貴之先生

たとえ乳がんになっても、美しく前向きに生きるには、正しい知識を持つ、がんに向き合うことが大切です。乳がんは自分で発見できます。乳がんの発見状況は、検査が約20%、自己発見が約73.8%。よって自己発見が約早期発見が非常に重要です。ただし、自分で見つけられない小さながんもあり、これはマンモグラフィと生検による確定診断が必要で、最近では傷や変形が小さくて済む生検法が開発されました。不安があるなら、恐れずに検査・生検を受けてください。乳がんの治療には、局所治療と全身治療があります。局所治療の代表は手術であり、近年では広範囲な乳がんの場合、温存療法が標準化してきています。また、これまで治療の一环とされていた腋窩リンパ節郭清



最近では、アロマターゼ阻害剤や分子標的療法など新しい薬物療法が出てきており、治療成績の改善が期待されています。



### 第2部 パネルディスカッション

#### 「ビューティー&プレストキャンサー」 ～乳がんと向き合ってもっと綺麗に生きる～

#### 「患者の立場から」

女優 音無美紀子氏

乳がんになったのは、今から18年前。自己検診で、左胸にしこりを見つけたのです。いけなかったのは、仕事と育児を口実に放っておいたこと。痛みを感じて病院に駆け込んだときには、もうリンパ節に転移しており、左乳房を全切除することになったのです。女優として、母親として、女として、とてもつらい選択でした。乳がんは、切りました。治りました。というほど簡単な病気ではありません。仕事、片胸を切除したことを周囲に打ち明けず、悲しみを一人で抱え込んで



いたこと、そして再発に対する不安から、ついにはうつ病になってしまいました。頭の中がもやもやして、考えがまとまらない。眠りたいのに眠れない。死にたいと思うほどつらい日々から立ち直れたのは、家族がいたからにはかたじけなく、今日はお米だけは研ごう、鏡を見て笑ってみよう、鉛のように重い体を引きずって一歩踏み出す、家族が喜び、その喜びが私自身のものになると気づいたことが、前向きに生きる勇気につながったのです。乳がんは早い段階で見つければ治る病気です。自分の体は自分で守るという意識を持つ、恐れずに検診を受けてください。そして、皆さんのご家族やお友だちなどにも、このことを伝えて、一人でも多くの方が明るく、美しく生きていけるように頑張ってください。

#### 「最新の乳房再建術」

国際医療福祉大学教授 酒井成身先生



乳房再建手術には、大きく分けて二つあります。一つは、シリコンなどでできた人工乳房（インプラント）を挿入する方法。乳がんを切除した部位の皮膚に厚みがある場合に行います。ただし、皮下組織が薄い、傷の痕が強い、また、術後に放射線療法を行えば、皮膚が硬くなってしまう場合があります。この方法での再建が難しくなり

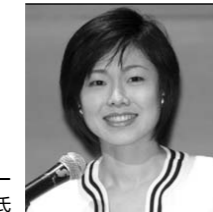
#### 「メイクセラピー」

美容研究家 美フライン研究所代表 小林照子氏

基調講演を行われた木下先生が以前、「抗がん剤の治療を受けた後、患者さんの免疫力を下げないようにしたい。そうするとほとんど再発がないです」とおっしゃっていました。私は長年の経験から、60兆個以上ある人間の細胞は楽しいこと、気持ちよいくことが大好きで、人を美しく輝かせるメイクアップには、免疫力を高める力があると信じています。メイクの力で、人はいかようにもなれます。下がり肩を少し上げて描くだけで、悲しそうな顔を生き生きとした表情へと



変えることができます。ただ、病気になるまで心がかたくなっているときに、楽しい状況を作るなんて無理なこと。そんなときはメイクセラピストというプロの力を活用してください。「プロに頼むと高いのでは？」と心配なさらないで。メイクに携わる人の多くは、人を喜ばせることが生きたい、ボランテニア精神にあふれているのです。もっとも、メイク



司会：NHKアナウンサー 有働由美子氏

### 開会のあいさつ



第15回日本乳癌学会学術総会会長 帝京大学外科教授 池田正先生

医療は日進月歩で進歩していますが、まだ乳がんを克服するには至っていません。そのために、外科医、内科医、産婦人科医、放射線科医、精神科医といった医師だけではなく、コメディカル（医師以外の医療従事者）の方、患者さんまでを含めて、全世界的に協調していくことが大切です。今回の市民公開講座も、外科医、形成外科医、患者さん、メイクアップアーティストと多彩な方に集っていただきました。本日のお話が皆様のお役に立つこと、そしてこれからの健康を祈念しております。



## 大鵬薬品は、がん治療薬の研究・開発に取り組んでいます



http://www.taiho.co.jp/

私たちは 人々の健康を高め 心豊かな社会作りに貢献します